



I. はじめに（概要、教育理念、特色等）

2008年4月にヘルスバイオサイエンス研究部（現 医歯薬学研究部）循環器内科学分野の初代教授として佐田政隆教授が着任し、診療・研究・教育においてより一層の内容充実を目指しています。循環器内科の関与する領域は、臨床面ではプライマリケアから非侵襲的画像検査、カテーテル治療などの専門・高度医療、研究面では臨床研究から分子生物学的手法を駆使した基礎研究にわたり、非常に幅が広いことが特徴です。徳島大学病院では基本的な診療技能の習得はもちろんのこと、心臓カテーテルを用いた診断と治療、電気生理学検査、カテーテルアブレーション、ICDやペースメーカー植え込み、心臓超音波検査（体表面、経食道）、冠動脈CT、心臓MRIをはじめとする新しい画像診断などに関して最新の技術を学ぶことが可能です。また、循環器科を有する研修関連病院や国立循環器病研究センター心臓血管内科などにおける臨床研修との連携により、高い診療レベルを有する循環器専門医の育成を目指しております。このような臨床研修と平行して、研究を行いたい方には、国内外への留学も含めて臨床研究あるいは基礎研究を行う体制も整っており、各自の将来設計に配慮した幅広い研修プログラムが選択可能です。



Ⅱ. 専門研修プログラム

①各専門研修コースの概要、取得できる専門医

| 入局後年数 | 卒後年数 | 身 分 | 研修内容 | 資 格 等 |
|-------|------|--|------------------------------|---|
| 1 | 3 | 大学病院医員 | 専門研修 | |
| 2～4 | 4～6 | 大学病院医員または関連病院医師（いずれも社会人大学院生を兼ねることが出来る） | 専門研修 学位研究 | 日本内科学会内科専門医取得 |
| 5～8 | 7～10 | （社会人）大学院生 大学病院医員または関連病院医師 | 学位研究 専門研修 | 学位取得 日本循環器学会専門医取得 日本超音波医学会専門医取得 日本心血管インターベンション学会認定医取得 日本内科学会総合内科専門医取得 |
| 9～ | 11～ | 大学病院スタッフ 関連病院スタッフ | 研修指導 専門診療 国内留学 海外留学 | 日本内科学会指導医取得 |

②大学病院での専門研修週間スケジュール

| 曜日 | 午 前 | 午 後 |
|----|---|---|
| 月 | 心臓カテーテル検査・心臓電気生理検査・ カテーテルアブレーション（8：50～） 心臓超音波検査（9：00～12：00） | 心臓超音波検査（14：00～16：00） |
| 火 | 冠動脈インターベンション（8：50～） 心臓超音波検査（8：30～12：00） | 心臓超音波検査（13：30～17：00） |
| 水 | 心臓電気生理検査・カテーテルアブレーション （8：50～） 経食道心臓超音波検査（9：00～12：00） | |
| 木 | 病棟回診 | 心臓超音波検査（14：00～17：00） 心臓リハビリテーション（15：00～16：00） |
| 金 | 冠動脈インターベンション（8：50～） 心臓超音波検査（8：45～12：30） | 心臓超音波検査（13：30～17：00） （検査終了後エコーカンファレンス：参加自由） トレッドミル検査（14：30～16：00） |

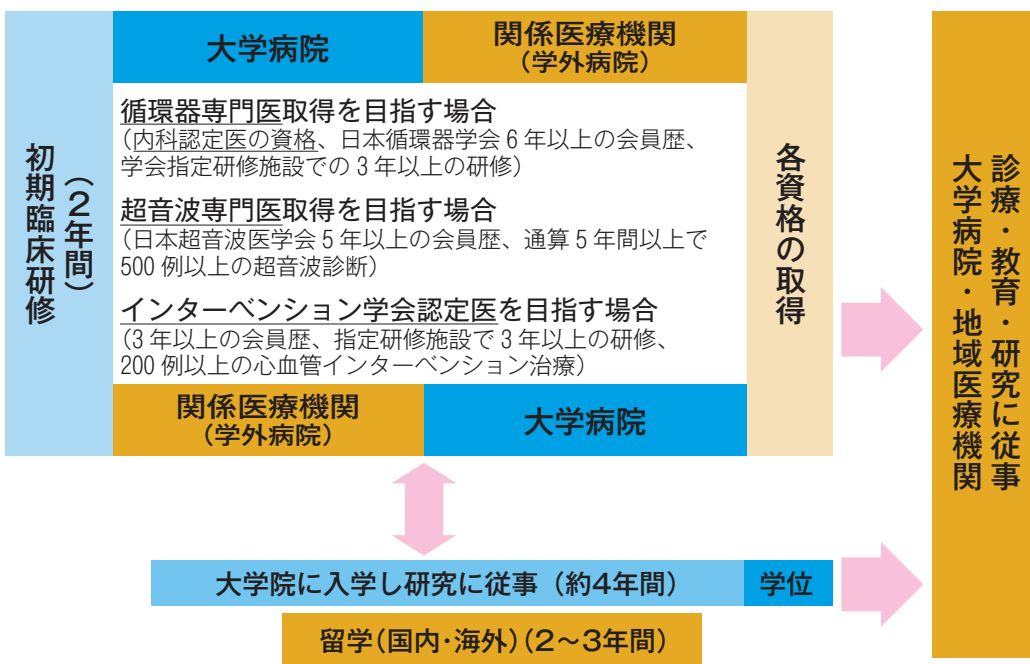
③研究・大学院

研究に関しては、動脈硬化の病態解明、冠動脈疾患に対する新規の診断と治療法の開発、重症心不全に対する新規治療法の開発、生理活性物質の診療への応用、幹細胞や遺伝子を用いた再生療法、メタボリックシンドロームと脂肪細胞の関係、心血管病と炎症の関係、バイオ人工血管の開発などに関して、日常臨床で遭遇するテーマについて最先端技術を用いて探求していくことが可能です。（Ⅲ. 3も参照のこと）。血液バイオマーカーや心臓・血管超音波を用いた臨床研究、薬物介入試験も計画中です。このように当科では臨床業務と臨床研究、基礎研究が共存できるシステムづくりを目指しています。臨床で抱くテーマを基礎的に研究し、そこから得られた知見を次世代の診断、治療技術へ確立していくトランスレーショナル研究を推進しています。世界に情報を発信すべく教室院一同日夜研鑽を積んでおります。大学院については、臨床と研究の両立を図るため社会人大学院生での入学を進めていますが、強制ではなく、入学時期についても希望に応じていつでも入学できるような形をとっています。

④研修関連病院一覧（学会認定の有無）

| | |
|----------------------|---|
| 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設 | 徳島県立中央病院循環器科、徳島赤十字病院循環器内科、徳島県鳴門病院循環器科、国立病院機構東徳島医療センター循環器内科、国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター循環器科、高松市立みんなの病院循環器科、香川県立白鳥病院循環器内科 など |
| 日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設 | 国立病院機構東徳島医療センター循環器内科、国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター循環器科 など |
| 日本心血管インターベンション学会研修施設 | 徳島赤十字病院循環器内科、徳島県鳴門病院循環器科 など |

⑤国内外への臨床・研究留学



◆国内外への臨床・研究留学について

希望に応じて4年目以降の各段階において国内外への臨床・研究留学が可能。

今までの留学実績

| | |
|----|--|
| 国内 | 国立循環器病研究センター心臓血管内科、国立循環器病研究センター研究所 など |
| 海外 | Cleveland Clinic (クリーブランドクリニック：米国) Tufts University (タフツ大学：米国) University of Rochester (ロチェスター大学：米国) Boston University (ボストン大学：米国) など |

Ⅲ. 教育指導体制

①指導スタッフ一覧表（氏名、役職、専門領域、資格ほか）

| 氏名 | 役職など | 専門領域 | 資格ほか |
|-------|---------------------|------------------------|---|
| 佐田 政隆 | 教授 科長 | 循環器全般 特に虚血性心疾患 | 総合内科専門医 循環器専門医 高血圧専門医・指導医 脈管専門医 動脈硬化専門医 |
| 若槻 哲三 | 講師 副科長 外来医長 | 虚血性心疾患、 心臓カテーテル治療 | 心血管インターベンション認定医・専門医・ 指導医 |
| 添木 武 | 准教授 総務医長 | 循環器全般 特に不整脈 | 総合内科専門医 循環器専門医 超音波専門医・指導医 不整脈専門医 高血圧専門医・指導医 |
| 山田 博胤 | 地域循環器内科 特任教授 | 超音波医学、 弁膜症、心筋症 | 超音波専門医・指導医 |
| 福田 大受 | 心臓血管病態医学分野 特任准教授 | 循環器全般 動脈硬化 | 内科認定医 循環器専門医 |
| 八木 秀介 | 地域医療人材育成分野 特任准教授 | 循環器全般 心不全、動脈硬化 | 循環器専門医 総合内科専門医 |
| 山口 浩司 | 助教 教育主任 | 虚血性心疾患 末梢動脈硬化疾患 | 循環器専門医 総合内科専門医 JMECC ディレクター 心血管インターベンション認定医 |
| 飛梅 威 | 助教 | 不整脈 | 循環器専門医 不整脈専門医 総合内科専門医 |
| 楠瀬 賢也 | 助教 | 循環器内科学 超音波医学 弁膜症 | 超音波専門医 総合内科専門医 循環器専門医 |
| 伊勢 孝之 | 助教 病棟医長 | 循環器全般 特に心不全 | 循環器専門医 総合内科専門医 心血管インターベンション認定医 |
| 松浦 朋美 | 助教 | 循環器全般 特に不整脈 | 内科認定医 循環器専門医 不整脈専門医 |
| 伊藤 浩敬 | 地域循環器内科学 特任助教 | 循環器全般 特に虚血性心疾患 | 内科認定医 |
| 山田 なお | 医員 | 循環器全般 | 内科認定医 循環器専門医 |
| 上野 理絵 | 医員 | 循環器全般 | 内科認定医 循環器専門医 |
| 川端 豊 | 医員 | 循環器全般 | 内科認定医 循環器専門医 |
| 門田 宗之 | 医員 | 循環器全般 | 内科認定医 |
| 数藤久美子 | 医員 | 循環器全般 | 内科認定医 |

| | | | |
|-------|----|-------|--------------------------|
| 松本 和久 | 医員 | 循環器全般 | 内科認定医 |
| 高橋 智紀 | 医員 | 循環器全般 | 内科認定医 心血管インターベンション認定医 |
| 大楠祐一郎 | 医員 | 循環器全般 | 内科認定医 |
| 藤本 裕太 | 医員 | 循環器全般 | |
| 谷 彰浩 | 医員 | 循環器全般 | |
| 高橋 智子 | 医員 | 循環器全般 | |

②診療内容・診療実績

当科は臨床系の教室として、まず臨床業務ありきという姿勢で循環器疾患全般の専門的診断・治療に取り組んでいます。心臓超音波、心臓電気生理検査、心臓カテーテル検査などの各種検査はもちろん、専門治療として冠動脈形成術、急性冠症候群の救急治療、カテーテルアブレーション、ペースメーカー・植込み型除細動器(ICD) 植え込み、末梢閉塞性動脈疾患に対する幹細胞移植による血管新生治療などを幅広く行っています。最高水準の循環器診療を提供すべく、虚血性疾患、不整脈、心不全などの症例を積極的に受入れ、新技術の導入も迅速に行っています。平成19年診療科新設以降、各検査・治療とも、症例数は急速に増加しています。

③研究内容

佐田教授は、動脈硬化性疾患の成因と治療法の開発を長年のテーマとしています。特に、血管形成術後の再狭窄や粥状動脈の成因に関する遺伝子改変マウスを用いた研究は世界的に高く評価され、モデルを用いて得られた知見を、臨床における病態解明や治療法、イメージング技術の開発に展開しようと研究を継続しています。心血管系の再生医療にもユニークなアプローチを行っています。低分子化合物を用いて虚血臓器における増殖因子発現を誘導し血管新生を促進する方法は、より患者に負担の少ない方法として期待されています。ブタで良好な結果を得ており、現在臨床試験に向けて準備を進めています。また、最新の材料工学や幹細胞技術を駆使して、冠動脈バイパス手術に応用可能な小口径バイオ人工血管の開発を行っています。また、それ以外にも様々な形で基礎から臨床まで多岐にわたる研究を展開しています。

④同門会、病診連携組織

当科は新しい教室であり、平成27年4月から同門会を立ち上げ、教室をサポートする活動をしていただいています。病病あるいは病診連携は非常に充実しており、年に数回眉山循環器カンファレンスを開催し、紹介元の病院あるいは診療所の先生方と一緒に症例の検討を行うなど多くの病病・病診連携活動が行われています。

IV. メッセージ

このように当科では臨床業務と臨床研究、基礎研究が共存できるシステムづくりを目指しています。臨床で抱くテーマを基礎的に研究し、そこから得られた知見を次世代の診断、治療技術へ確立していくトランスレーショナル研究を推進しています。そして世界に情報を発信すべく教室員一同日夜研鑽を積んでおります。そして、教育活動についても特に力を入れており、後期研修医に関しては様々な形式でのカンファレンスや勉強会などを通じて知識の向上を図るとともに、早期から冠動脈造影、電気生理検査、ペースメーカー植込みなどの術者を担当してもらい、心エコーも出来るだけ数多くの症例をこなしてもらうことにより、実技面での育成にも力を入れています。

V. 連絡先

徳島大学大学院医歯薬学研究部循環器内科学分野循環器内科（徳島大学病院循環器内科）

〒770-8503 徳島市蔵本町3丁目18-15

TEL：088-633-7851 FAX：088-633-7894

E-mail：佐田 政隆（教授・科長） → masataka.sata@tokushima-u.ac.jp

添木 武（総務医長） → soeki@tokushima-u.ac.jp

山口 浩司（教育主任） → yamakoji3@tokushima-u.ac.jp

循環器内科の近況や活動内容に関してはホームページに掲載し、内容も定期的に更新しておりますので参照下さい。

ホームページアドレス：<http://square.umin.ac.jp/TOKUSHIM/>